



# 安積山

郡山市立日和田小学校  
学校便り No.33  
令和2年10月6日  
文責：校長 伊藤孝行

## 緑の募金へのご協力に感謝いたします。

ボランティア委員会でおこなっていました緑の募金ですが、たくさんのご家庭の協力をいただき、総額17,420円となりました。

いただきました募金のお金は、緑の財団へ寄付させていただきました。本当にありがとうございました。

## 学校を取り巻く秋の景色

日和田小学校やその周辺には、季節の変化をいち早く教えてくれるものがたくさんあります。



<彼岸花>



<ススキ>



<銀杏>



<金木犀>

星空や遠くの景色を眺めるだけでも気持ちをリフレッシュさせることができます。

新型コロナウイルスのことは頭から離れることはありませんが、自分でできるリフレッシュ方法を見つけ心のバランスをとりましょう。

## ピンチをチャンスにしましょう。

子どもたちは、学校で、毎日子ども同士で関わ

り合って生活しています。その中では、小さなトラブルは毎日のように発生しています。

「悪口を言われた。」「にらまれた。」「無視された。」「たたかれた。」「順番を抜かされた。」、中には「悪口を言われたように思う」というものもあります。被害を受けた子どもは、お父さんやお母さんに、この世の一大事のように報告します。

でもその時、自分の子どもをどのように育てたいのかきちんとした考えを持っていれば、このピンチはしっかりした子どもに育てる絶好のチャンスになるのです。

### 【親子の会話例1】

子「A子ちゃんに『ばか』って言われた。」  
親「そんなこと言われたの悲しいね。でも、あなたは『ばか』じゃないよ。お母さんはよくわかっているから大丈夫よ。」  
子「ほんとう。」  
親「ほんとうだよ。大丈夫よ。」

※ 不安を感じた子どもを安心させる言葉かけをしてください。親が子どもを認めることが一番の「薬」です。

### 【親子の会話例2】

子「Aちゃんにたたかれた。」  
親「どうしてAちゃんにたたかれたの？」  
子「わからない。」  
親「たたかれると嫌な気持ちになるよね。あなたは、お友達にしないでね。」  
親「それから、Aちゃんにたたかないでって言った？嫌なことは嫌ときちんと伝えないと相手にはわからないよ。」

子どもの世界は、年齢と共にどんどん広がります。これから人間関係が広がっていく子どもたちには、「自分がされて嫌なことは他人にしない。」

「嫌なことは嫌と、相手に意思表示する。」ということを教えなければなりません。

トラブルの多くはおとなの目の届かないところで起こります。おとなの目の届かないところでも子どもなりに、自分の力で問題を解決する力を身に付けていくことが「自立」への道です。